課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	選挙課	志馬　公二郎

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
令和5年統一地方選挙の結果を踏まえた、投票意欲のある人を取りこぼさない取り組み。

2 課の目標・アウトカム 前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	令和5年統一地方選挙の安全で公正かつ適正・効率的な選挙の執行		R5	安全で公正かつ適正で効率的な選挙の執行	安全で公正かつ適正で効率的な選挙の執行	安全で公正かつ適正で効率的な選挙の執行	公正で正確な選挙の実現
2	再編による最適な投票区の編成		R5～	・過大投票区の解消 ・投票所への移動距離適正化	・候補区洗出し ・地元意向確認 ・周知方法検討	・黒石、西岐波投票区の分割 ・原の南、宇内投票区の統合	投票しやすい環境の実現
3	投票のための移動支援の拡充		R5～	効果的な実施方法、実施範囲の見極め	・北部6地区での実証運行 ・拡充対象地域の選定	新たな地域での実証運行の実施と利用拡大に向けた周知の充実	投票しやすい環境の実現
4	選挙啓発		R5～	若年層を中心とした投票率の向上	地道な啓発事業を継続し若年層の投票意欲の向上と持続をさせる	・模擬投票を中心とした出前講座開催の増加 ・啓発作品応募参加数の増加	社会参加意識の醸成と投票意欲の向上
5							

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	令和5年統一地方選挙の執行	地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律	安全で公正かつ適正で効率的な選挙の執行	75%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・2か所の商業施設（ゆめタウン・フジグラン）で木・金・土の期日前投票所の開設 ・公共交通の利便性が低い北部6地区を対象に期日前投票所に送迎する巡回バス、デマンド利用助成を創設 ・適切、適量な人員配置計画に基づく、確実な執行体制の構築		105,570	100%
（庁内連携課）	全ての課	うち一財 72,408	
（共創パートナー）	大型商業施設（ゆめタウン、フジグラン）		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
選挙の執行	● 安全で公正かつ適正で効率的な統一地方選挙の執行										

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2・3	投票区の再編 移動支援の拡充	投票所の設置指針として示された国の通知では、「3㌔以内」「3，000人未満」となっているが、5，000人を超える規模の投票区が存在している。そのほか、投票所が遠いという声も各所である状況。モータリゼーションが進み、人々の生活スタイルも変容している中、投票意欲のある人を取りこぼさないために、投票所までの適正な距離等を考慮し、移動支援の創設と合わせた投票区の再編成が必要		

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・面積、人口、投票所までの距離の検証に加え、投票所として適当な設備の有無も視野に入れ、候補となる投票区を選定 ・地元住民の合意や、投票所変更に関する認識の浸透度を見据え、周知法などを地元協議を重ねながら、慎重に進める ・分割だけでなく、効率的なルート設定による移動支援の創設と合わせた投票区統合の可能性も検討			市民のニーズに応えた投票区の再編成
（庁内連携課）	都市計画課	うち一財	
（共創パートナー）	地元関係者		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	● 投票所変更情報の地元周知について、投票区分割に基本合意済みの黒石投票区関係者と具体的な手法の協議と実施										
	再編候補の選定と局所的な移動支援の創設について地元の意向確認及び協議の進行（西岐波、原の南、宇内、棚井中等）										

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	選挙啓発	投票率低下の防止、若年層の投票率向上	若年層の投票率向上	

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・投票結果を公表の上、成果の検証と認識共有しながら、投票の価値に対する意識の定着させることを主たる目的とする模擬投票を中心とした出前講座を開催 ・選挙啓発作品応募の拡大に向けた各賞の充実		534	
（庁内連携課）	学校教育課	うち一財 414	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校関係者へのアプローチを積極的に行い、小中高校生対象の出前講座開催の頻度を上げる・生徒会選挙用の選挙物品の貸出は継続											
			小中高校生の啓発作品募集・表彰・巡回展示								